

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2025年7月1日

【事業年度】 第102期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

【会社名】 森永乳業株式会社

【英訳名】 Morinaga Milk Industry Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 大貫 陽一

【本店の所在の場所】 東京都港区東新橋一丁目5番2号

【電話番号】 03(6281)4674

【事務連絡者氏名】 財務部長 山田 拓

【最寄りの連絡場所】 東京都港区東新橋一丁目5番2号

【電話番号】 03(6281)4674

【事務連絡者氏名】 財務部長 山田 拓

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2025年6月25日に提出いたしました第102期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 【企業情報】

### 第2 【事業の状況】

#### 2 【サステナビリティに関する考え方及び取組】

(5)人的資本に関する戦略並びに指標及び目標について

### 第4 【提出会社の状況】

#### 4 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1) 【コーポレート・ガバナンスの概要】

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

## 第2 【事業の状況】

### 2 【サステナビリティに関する考え方及び取組】

#### (5)人的資本に関する戦略並びに指標及び目標について 戦略

(訂正前)

経営戦略の実現に向けて

中長期的に描く姿を人財の面から実現するために、当社グループでは「人」と「組織」の両面で取り組んでいます。

人づくり（人財育成）においては「個人の自律」と「専門能力の発揮」に向けたアプローチ、組織づくり（環境整備）においては「多様な価値の結合」と「挑戦を称賛する風土」に向けたアプローチ、これらを両立させることが必要だと考えています。

(～中略～)

挑戦を称賛する風土

新たな発想を成果に繋げていくには、発想を行動に移すことができるかが大切であり、そのためには、失敗を許容し、挑戦を後押しする風土を創り上げていくことが必要と考えています。

森永乳業グループの表彰制度（Morinaga Milk Awards）や、2022年より風土改革と事業創出を目的に開始した新規事業創出プログラムは、挑戦を称賛し合う文化の定着につながっています。

(訂正後)

経営戦略の実現に向けて

中長期的に描く姿を人財の面から実現するために、当社グループでは「人」と「組織」の両面で取り組んでいます。

人づくり（人財育成）においては「個人の自律」と「専門能力の発揮」に向けたアプローチ、組織づくり（環境整備）においては「多様な価値の結合」と「挑戦を奨励する風土」に向けたアプローチ、これらを両立させることが必要だと考えています。

(～中略～)

挑戦を奨励する風土

新たな発想を成果に繋げていくには、発想を行動に移すことができるかが大切であり、そのためには、失敗を許容し、挑戦を後押しする風土を創り上げていくことが必要と考えています。

森永乳業グループの表彰制度（Morinaga Milk Awards）や、2022年より風土改革と事業創出を目的に開始した新規事業創出プログラムは、挑戦を奨励し合う文化の定着につながっています。

## 第4 【提出会社の状況】

### 4 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

#### (1) 【コーポレート・ガバナンスの概要】

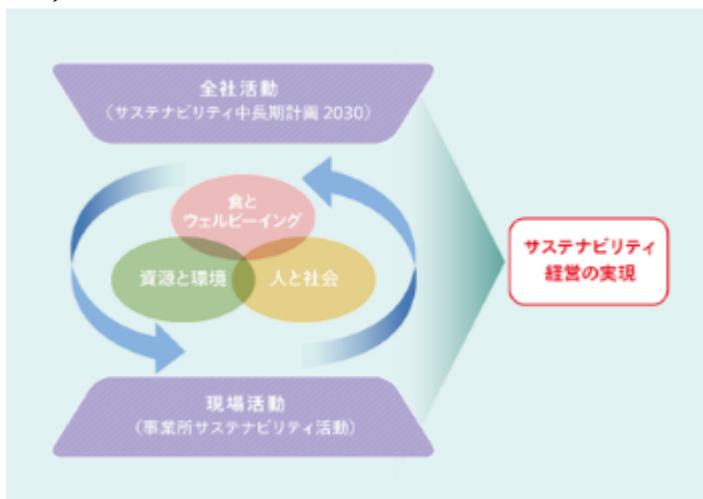
#### 2. 企業統治の体制の概要及び当該体制を採用する理由

##### (1) 企業統治の体制の概要

当社は監査役会設置会社です。

会社の機関、内部統制の関係は以下のとおりです。

(訂正前)



(訂正後)

